

【研究発表Ⅲ-⑪ 医療情報・教育・管理】

救急カート管理と急変時対応の報告

石巻赤十字病院 放射線技術課
○及川 林 (おいかわ しげる)

【目的】

当院では2016年1月28日付で日本で病院では17施設目、東北では初となる世界で最も厳しい病院認定と言われているJCI (Joint commission international) 認定 (以下JCI認定と記す) を取得した。JCI認定に伴いさまざまな面で改善を当院では行った。その一つとして救急カートの院内統一化が行われた。それにより救急カートの点検・整備を放射線技師が行うことになった。また、急変対応時の取り組みもJCIサーベイヤーから放射線技師にも質問があるとの理由もあり積極的に知識習得を行った。それに合わせ放射線科では急変時対応マニュアルの作製などにより体制強化を行った。また2017年3月より急変時記録の電子カルテ入力を放射線技師が行うことになった。

【方法】

JCI認定取得により放射線部での救急カート整備、急変対応がどのように変化したのか、電子カルテへの入力も含め報告する。

【結果】

- ① JCI認定取得のために求められた項目を満たすために当院では救急カートの院内統一かつ中央管理を開始した。中央管理化されたことにより救急カートの管理を放射線技師が行うことになった。
- ② 急変対応時の変化としては、急変対応マニュアルを作製したことにより放射線技師の急変時の役割 (記録担当、救急カート搬送、連絡担当等) を明確にした。
- ③ 院内急変対応システム: RRS (Rapid Response System) への連絡基準を簡便にした。
- ④ 看護師ではなく、放射線技師が電子カルテへの入力を簡易的ではあるが担当することになった。

【考察】

当院ではJCI取得に伴い様々な面で改善を求められた。それに伴い、救急カートの整備、急変対応等が改善された。放射線技師も急変時の初期対応が明確にスムーズに行えるようになった。今後も改善活動を継続し、国際水準の医療提供と安全性の更なる向上へ向けて、引き続き取り組んでいきたい。